



第2節 活動

～地域防災力の要～

- 消防団は災害活動のほか、消防特別警戒や防火防災思想の啓発のための活動等を行っています。
- 前年度と比較し、出場件数は増加、警戒件数は減少しました。

1 活動状況（統計）

（1）出場件数

令和2年度中の特別区消防団の出場件数は、1,217件でした。前年度と比較すると、92件増加しています。（図表3-2-1）



（2）警戒件数

令和2年度中の特別区消防団の警戒件数は、7,625件でした。前年度と比較すると、9,723件減少しています。（図表3-2-1）



■ 図表3-2-1

令和2年度中の特別区消防団の活動状況

年	令和2年度	前年度比
出場件数	1,217件	92件
警戒件数	7,625件	▲9,723件

（3）教育訓練件数

令和2年度中の特別区消防団の教育訓練件数は、10,816件で、日々訓練を重ね、災害対応力の充実強化を図り、災害に備えています。



2 活動事例

(1) 災害活動

ア 令和2年4月に2階建ての住宅から出火し、4棟150㎡が焼損した火災に、消防団のポンプ車5台、団員127人が出場しました。



イ 令和2年7月に2階建ての店舗併用住宅から出火し、1棟40㎡が焼損した火災に、消防団員7人が出場しました。



ウ 令和2年8月に平屋建ての住宅から出火し、3棟139㎡が焼損した火災に、消防団のポンプ車5台、照明電源車1台、消防団員65人が出場しました。



エ 令和2年11月に工事中の建物から出火し、地下1階2,700㎡が焼損した火災に、消防団の可搬ポンプ積載車等2台、消防団員23人が出場しました。



(2) 教育訓練

ア 令和2年11月に震災対応力向上を目的に、震災活動訓練審査会を実施しました。



イ 令和2年7月に台風や集中豪雨に備えるため、消防署と連携した水防工法訓練及び配置されている水防用資機材取扱い訓練を実施しました。



ウ 令和2年2月に林野火災を想定した訓練を実施し、自然水利への部署、長距離ホース延長訓練及び無線運用訓練を実施しました。



(3) 消防特別警戒

各地域で開催された節分祭や夏祭りにおいて、それぞれ消防特別警戒を実施しました。



(4) 消防演習

ア 令和2年1月に文化財防火デーに伴う消防演習を行いました。



イ 令和2年2月に春の火災予防運動に伴う、消防署及び関係機関等と連携した消防演習を行いました。



(5) 総合防災教育等

ア 高等学校等において、消防団の活動を紹介するとともに将来の地域防災の担い手を育成するため、総合防災教育を実施しました。



イ 各消防団は、各消防署及び各小学校等と協力し、「はたらく消防の写生会」に参加しています。はたらく消防の写生会は、一人でも多くの子供たちに参加してもらい、消防の仕事を理解し、防火防災の心を育て、さらに多くの都民に防火防災思想を啓発することを目的として実施しています。



ウ 各消防団は、防火防災訓練及び各種イベント等の機会をとらえ、初期消火訓練などの指導を行っています。

